

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (四国)	良く なっている	スーパー（店 長）	単価の動き	・生鮮食品を中心に高品質の商品の動きが良くなって きている。
	やや良く なっている	一般小売店〔書 籍〕（営業担 当）	お客様の様子	・節約志向は変わらないが、どうしても欲しいものは 買っている。高額なコンサートチケットが完売した例 もある。
		コンビニ（店 長）	販売量の動き	・競合店の出店で客足が減少しているが、食品は伸び ている。
		衣料品専門店 （経営者）	単価の動き	・先月同様、台風や雨で売上は一時的に落ち込んだも の、全体的には衣料品関係の売上は良好であった。
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・新機種の販売を開始し、冬商戦が始まった。
		ゴルフ場（従業 員）	来客数の動き	・予約状況は若干、上向いている。
	変わらない	商店街（代表 者）	お客様の様子	・消費税の再増税が決まれば、景気はさらに不安定に なる。
		商店街（代表 者）	お客様の様子	・顧客の動きは依然として鈍い。
		商店街（代表 者）	来客数の動き	・10月11～13日の3連休と25～26日はイベント等の開 催効果で来街者数は多かった。ただ、平日の午前中は 来街者が極端に少なく、これが売上の減少につながっ ている。消費税増税の影響が依然として続いている。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・4～6月の消費税増税の反動減、8月の天候不順の 影響は収まりつつある。来客数は伸びていないが、単 価は上昇している。
		スーパー（企画 担当）	来客数の動き	・消費税増税以降、来客数も買上点数も伸びない。原 料価格高騰などの影響で客単価は上昇しているが、買 い回り頻度は下がっている。
		スーパー（企画 担当）	来客数の動き	・来客数、客単価ともに前年よりも悪い。
		スーパー（財務 担当）	お客様の様子	・消費税増税に伴う節約志向と、良い商品への価値志 向の2つの流れがバランスよく取れている。
		家電量販店（店 員）	単価の動き	・販売量は回復傾向にあるが、購入単価がそれ以上に 低下しているため、全体的には悪い状況が続いてい る。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・販売台数が前年を下回る月が続いており、消費税増 税以降、低調な状況を抜け出せずにいる。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・新車販売台数は、前年比90%程度で推移している。
		乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・お買い得情報を提示しても反応が悪く、ユーザーの 購買意欲は良くない。低年式で車検を迎える、あるい は修理が必要などの代替時期が来ない限り購入しては もらえない。
		乗用車販売店 （役員）	販売量の動き	・10月も、当社も同業他社も新車効果はなかったよう だ。
		その他小売 〔ショッピング センター〕（副 支配人）	お客様の様子	・前年を下回ったが、台風の影響を考慮するとほぼ前 年並みと言える。客数減、単価上昇が続いている。
		観光型旅館（経 営者）	販売量の動き	・客数は安定しているものの、客単価が伸びない。エ ネルギー代も上昇しており、商売環境は良くない。
		都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・宿泊客数は安定している。地元客が利用するレスト ラン等の飲食部門は、来客数・単価ともに減少傾向に ある。
		旅行代理店（支 店長）	お客様の様子	・2週続けて週末に来襲した台風の影響から、旅行を 控えたり、修学旅行のキャンセルも多く、売上は大き く落ち込んだ。
		タクシー運転手	来客数の動き	・秋のお遍路シーズンになり、少しずつ仕事が増えて きている。街中も乗車する客が多くなってはいるが、 近距離が多く、夜は少ない。
		通信会社（企 画）	お客様の様子	・高額商品の引き合いが以前と比べて少し鈍いように 思うが、悪くなっているというほどでもない。
		設計事務所（所 長）	来客数の動き	・特に状況は変わっていない。
	やや悪く なっている	商店街（事務局 長）	販売量の動き	・週末の人通りは多いが、売上は低調である。今夏ま で堅調だったシニア層の消費は、秋頃から勢いが落ち ている。外国人観光客が増えているので、その消費を 取り込む策を地域全体で考えなければならない。

		一般小売店〔生花〕(経営者)	単価の動き	・予算は安くなってきており、衝動買いも減っている。
		百貨店(販売促進担当)	販売量の動き	・食品や大型専門店などデイリー商材は回復傾向にあるが、主軸の衣料品、高額品は消費税増税後、苦戦が続いている。消費の回復は想定より遅れている。
		コンビニ(店長)	販売量の動き	・給料日後でも売上が伸びない状況が続き、前年割れになってきている。
		コンビニ(総務)	来客数の動き	・気温や天候に大きく左右されるものの、来客数は減少している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・売上高等は下落している。今までタクシーを使っていた人が、自転車や電車・バスを利用しているようだ。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・冬商戦前で、やや低調になっている。
		通信会社(支店長)	来客数の動き	・主力商品のリブレース時期であるのに、来客数が減少している。
		競艇場(職員)	販売量の動き	・10月の売上は前月比7%減、3か月前比27%減、前年比は横ばいだった。9月と比べて本場開催が2日少なく、休催日が3日あったことを考慮すると悪くはないが、全般的に低調である。
	悪くなっている	一般小売店〔乾物〕(店員)	それ以外	・夏以降、売上が悪い。客数、客単価ともに極端に下落している。
		一般小売店〔酒〕(販売担当)	お客様の様子	・消費者は、必要なもの以外の購入を控えている。購入する場合でも最低価格を探したり、通販を利用しているようだ。
		衣料品専門店(総務担当)	販売量の動き	・今月も台風の影響が大きかった。集客と売上が悪化しており、前年度より10%以上の落ち込みを予想している。
		美容室(経営者)	お客様の様子	・来店周期が長くなり、客数の減少が続いている。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
(四国)	やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・新商品の売行きが良く、明るい方向に向かっている。
	変わらない	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・先月末から売上が厳しくなっている小売店が増えている。円安による小売価格の上昇が消費マインドの低下につながり、買い控え傾向が見受けられるとの報告があった。
		鉄鋼業(総務部長)	受注量や販売量の動き	・造船業界は2014年問題を乗り切って3年先まで契約が満杯だそうだが、当社への造船関連の受注はまだまだ増加傾向にない。
		一般機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・国内販売は堅調に推移し、海外は地域差があるものの順調に推移している。
		電気機械器具製造業(経理)	受注量や販売量の動き	・得意先からの受注量の増減はわずかで、大きな変動は生じていない。
		建設会社(経理担当)	受注量や販売量の動き	・受注件数、受注高とも増えているが、利益面は低調である。
		建設業(経営者)	取引先の様子	・前年度からの繰越業務がほぼ完了し、今年度の業務にとりかかる。災害復旧事業は想定よりも少なく、また企業により受注量に差が出ている。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注が伸びない。特に民間の新築件数が低調である。
		輸送業(営業)	取引先の様子	・消費税増税以降、景気回復が遅れている地方に限らず、都市圏でも節約志向が根強い。
		通信業(部長)	受注量や販売量の動き	・例年この時期の受注量は少なく、今年も同じ傾向にある。
		金融業(副支店長)	取引先の様子	・製造業は設備投資の需要が多い。一方、小売業は消費税増税の影響が続いており、景気が上向いているとは感じられない。
		公認会計士	取引先の様子	・決算書や月次試算表等から、売上が前期と比べて増加している企業と減少している企業がほぼ同数ある。
	やや悪くなっている	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・電力会社による太陽光発電の買い取りが保留になって、大変大きな痛手になっている。受注残でなんとか維持しているが、新規の受注がないため、景気は悪くなると判断する。
	悪くなっている	輸送業(支店長)	取引先の様子	・在庫過多により、生産調整に入っている。
雇用関連	良くなっている	-	-	-

(四国)	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	人材派遣会社 (営業担当)	雇用形態の様子	・派遣社員を正社員や契約社員等の直接雇用に切り替える動きに大きな変化はない。募集している正社員の賃金が派遣就労時の賃金より見劣りするため、企業が期待するほど正社員への移行は少ないのではないかと聞かされた。
		人材派遣会社 (営業)	周辺企業の様子	・求職者の動きはまだ停滞しているが、季節雇用の求人に対する動きがみえている。しかし、企業からは、正社員募集に希望者は来るが、短期間で辞めてしまうので困っていると聞く。
		求人情報誌(営業)	採用者数の動き	・採用者数に大きな変化はない。求める人材が採用できない状況が続き、採用に苦労している企業が多い。
		新聞社[求人広告](担当者)	周辺企業の様子	・求人広告は好調を維持しているが、売上増に向けた広告が伸びない。特に不動産、金融が低調で、SP関連は深刻である。折込広告の投下回数も減少したままである。
		職業安定所(職員)	採用者数の動き	・新規求職者は減り続けているが、就職者数は減少していない。労働力の移動は同水準で推移している。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・9月の有効求人倍率は1.05倍で、前月より0.12ポイント下回った。
	民間職業紹介機関(所長)	求職者数の動き	・求職者数が前年より減少している。転職して待遇面や将来性が今より向上するかどうかを見極めていようとしている。	
	やや悪くなっている	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・製造業の仕事が減少しており、求人数も少ない。在庫を抱えたくない企業が多く、求人の変動が激しい。
	職業安定所(職員)	それ以外	・9月の有効求人倍率は1.01倍で、3か月前より0.03ポイント減少している。	
悪くなっている	-	-	-	